きらり

人権・同和教育保護者だより　第50号
小松高等学校ＰＴＡ人権教育部
令和４年９月発行

Citrus Ribbon PROJECT

☆第１回人権・同和教育ホームルーム活動

１年　より良い人間関係を作ろう

ＰＴＡ人権教育部の活動計画

竹林整備	年３回
西条市人権・同和教育講座（～12月）	５月
市内五高校人権・同和教育連絡協議会	~~６月~~
いじめ問題対策委員会	７月
体育大会販売	９月
きらり50号の発行	９月
小松高祭~~販売~~	10月
ウォークラリー大会~~補助~~	11月
人権・同和教育ホームルーム活動公開授業	11月
きらり51号の発行	２月

２年　差別はどのようにして作られたのか

３年　確かな進路保障のために

○『思いを繋ぐ』を聞いて

《西条市人権・同和教育講座①　５月21日》

～西条高等学校　講師・石田伸一さん～

今回の講座では、映画「男はつらいよ」から始まり、差別や偏見、同和教育、東日本大震災と多方面にわたる話がありました。正直にいうと、普段は人権問題や差別について考えることはありません。今回の話を聞くことで、実は人権問題は同和問題だけでなく、さまざまな場面で存在していることに気がつきました。自分自身としては差別や偏見は持っていないと思っていますが、やはり人間関係の中で全くないとも言い切れないように感じます。人権問題や差別について改めて考えるきっかけとなり、今後は自分自身も寅さんのように少しでも周囲に優しくできるようにしていきたいと思います。

○「西条市で生きる」

《西条市人権・同和教育講座② ７月22日》

～CIL星空西条支部・宇高竜二さん～

CILは、障がいのある人の自立生活を支援する団体で、Center for Independent Living（自立生活）の略です。講師の宇高さんは、頸椎損傷により手足麻痺の後遺症をもちました。首から下がほとんど動かないということでしたが、車イスでの自立した生活を営んでおられ、とても明るく生き生きとされていました。講演の中で、宇高さんの起床から外出までの定点カメラの動画が流れました。ヘルパーさんと協力して、数時間をかけて歯磨き、着替えを行っておられました。健常者であれば数分で終えられることかもしれませんが、本当に大変な生活だと感じました。

私たちは、ともすれば障がいのある人は別の世界の人であり、自分とかけ離れたものと思いがちです。社会には、障がいという個性を持つ人がたくさんいて、ノーマライゼーションというみんなでお互いに支え合いながら暮らしていくことが望まれています。そのために、今後自分として具体的にどう行動していくべきかを考える良い機会となりました。

☆人権・同和教育講演会

永井克征先生に講演してもらいました。

講演会の感想

○ハンセン病差別や戦争など、実際に体験した人の話はとても貴重であり、これらをなくしていくための勉強には欠かせないものだと思いました。

○自分だけがわかっていても全員がわかっていないと意味がないし、他人事と考えるのではなく自分の事だと思って、もっと考えを深めていかなければならないと思いました。

☆人権紙芝居（清風会道前育成園）

ノーマライゼーションについて学びました。

人権紙芝居の感想

○知的障がいのある子をもつ親や家族の悩みなど、私にはまだわからないことが沢山あるので、今日の講演を聞くことができて本当によかったです。。

○障がいのある人を特別扱いするのではなく、障がいのある人も普通の生活ができ、ノーマライゼーションという共に協力しながら生活していくことを目指したいと思いました。

☆いじめ問題対策委員会

ＬＧＢＴ等への対応について確認しました。

☆現地研修会（氷見交友会館）

林田哲雄さんについて学びました。